

～ 戴帽式を迎えて～

第87回生 井上 菜穂

戴帽式を迎えて、まずは1年生44人全員でこうしてこの日を迎えられたことを非常に喜ばしく思います。

入学してからもう半年も過ぎたという時の早さに驚くとともに、自分はこのままでいいのか、もっと時間を大切にしなければならぬと改めて実感することのできた1日になりました。

また、ナースキャップをつけていただいたり、祝辞のお言葉を聞く中で、自分がようやく夢である看護師の道へと本格的に歩み始めているのだと強く実感し、身の引き締まる思いがしました。入学当初の、自分は本当にやっていけるのだろうかと不安になった時のことや、初めて実習に行ったときのあの緊張感と自分の未熟さを思い知った時のこと、そして同時に看護師という職業の素晴らしさと自分も早く看護師となって患者さんに必要としてもらえるような存在になりたいと感じたことなど、この半年のことを思い起こすとても貴重な時間となりました。

ようやく看護について勉強できることへの嬉しさと楽しさを感じつつも、忙しい日々不安を感じたこともありましたが、

決して容易にこの日を迎えられたわけではないと感じます。周りの仲間や先生、先輩、そして家族など様々な方の支えがあったおかげで今日、笑って戴帽式を迎えられたとしみじみと思うと共に、感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張っていかなければならないと決意を固めました。

今回戴帽式という形で一つの節目を迎えられたので、また新たな気持ちで、目標を持って日々過ごしていけるようにしたいと思います。これからもご指導宜しくお願い致します。

